

令和6年1月5日

黒木 章光 殿

日向市浜町3丁目29番地

黒木 紹光

前略

貴殿より回答がなかったので、「求釈明申立書」に記載した内容は、ほぼ事実だと認識しました。なので、悩みましたがお手紙を差し上げました。お伝えしたいことは次の3点です。

〇〇〇〇〇〇〇市長選挙を冒涇することは止めてください。このまま貴殿が出馬すれば、選挙は泥試合になります。本来の日向市の将来を託すべき人物を選ぶ選挙ではなく、利権と政略に汚された単なる票争いになります。市民の政治への不信感が増幅し、市民間に不要な溝を作ります。

対抗する上で、私は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇を攻撃せざるを得ません。今度の選挙は、私と利権勢力との戦いです。したがって、好むと好まざるに拘わらず、私は、利権勢力を攻撃せざるを得ません。つまり、貴殿は、〇〇〇〇〇〇〇利権勢力側ですから、結果的に、私は、〇〇〇〇〇〇という構図で戦うことになります。

正直、そのような選挙戦にしたくないと考えています。市民にとっても、日向市の将来を託する人物を選ぶ選挙がそのような利権と政略に汚された単なる票争いになることは、極めて残念です。失うもの（政治不信）は計り知れません。

ふたつ目は、上記の構図の中で貴殿が戦えば、貴殿が当選しない限り、貴殿が失う信用は回復できないということです。貴殿は、陰謀を企んだ〇〇〇〇〇〇〇人物という烙印が押されます。この烙印は、ある意味政治生命の終わりを意味します。そのような烙印を押された人物を相手にする者はいないでしょう。

そうなる可能性がどれくらいあるかは断定できませんが、極めて高いと言えます。そうすると、貴殿は、出馬することで得られるメリット(?)より、抱えるリスクが数十倍も大きいことになります。愚かなプランです。

三番目は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇べきです。(中略) 公益を毀損するものです。(中略) 誘いに安易に乗れば、〇〇〇〇〇〇〇命取りになりかねません。

(中略) 客観的に振り返ってください。(中略)

以上、私は、貴殿が、消すことができない汚点を残して自ら将来の可能性を閉ざ

す愚かな行動をとるべきではないと考えます。貴殿は若いので、○○○○○○のよ
うに、○○○○○○スタートを切って、上を目指す道を進むべきだと思います。
しっかりした準備をすれば、その堅実な道の実現可能性は高いと言えます。安易な
愚かな考えで行動すれば、その道の可能性は閉ざされます。

私は、市長選挙の冒涇を決して許しません。熟慮の上善処ください。よろしくお
願い申し上げます。

草々